

# 海外事業概要調査報告書

. 会員会社による海外事業の展開状況 .....	2
. 海外生産事業の概要	
1. 調査方法 .....	4
2. 回答企業の内訳 .....	4
3. 売上高の状況 .....	4
4. 収益の状況 .....	8
5. 雇用の状況 .....	12
6. 現地調達率 .....	14

2002年11月  
(社)日本自動車部品工業会

2002年11月  
(社)日本自動車部品工業会

### 平成14年度海外事業概要調査の結果について

当工業会では毎年会員企業の海外事業について概要調査を実施している。本年度の調査結果を別紙のとおりまとめたが、その要点を整理すると次のとおりである。

1. 会員企業の海外生産拠点数は、昨年度調査に比べ40拠点の増加にとどまった。しかし、これは会員企業の海外事業展開が低調になっていることを示すものではない。この理由は、今回は昨年度に比べ13社の会員企業が脱会により調査対象から除外されたこと、また、今回調査では現地法人の売却、解散、統合などの報告が増加したためである。他方新規登録は107社と多く、中国、米国、中欧を中心に増加しており当会会員企業による海外事業展開は引き続き拡大していると見るべきである。
2. アジア事業では、アセアンを中心に平均売上高の増加だけでなく、黒字企業数、配当実施企業数の割合共に前回調査を上回っており、現地国内自動車販売の回復だけでなく輸出の増加が寄与していることが現れている。また、前年に比べ採算状況が好転したとする企業が多いこと、またアセアンを中心に日系自動車向けの売上比率が昨年度調査より増加しており、日系自動車メーカーの生産増大が業績に好影響を与えているものと思われる。
3. 欧州事業では平均売上高、黒字企業数、配当実施企業数の割合は昨年度調査に比べ好転が見られるが、未だ収益面でほか地域との比較では低い水準にあり、欧州とりわけ会員企業の進出の多い英国での通貨問題や欧州市場での厳しい競争状況を反映しているものと思われる。欧州全体の累積黒字企業の割合が41%であるが、英国在企業ではそれは28%であった。
4. 北米事業では昨年度調査に比べ注目すべき大きな変化は見られないが、黒字企業数、配当企業数の割合に若干の減少が見られた。

## ・ 会員会社による海外事業の展開状況

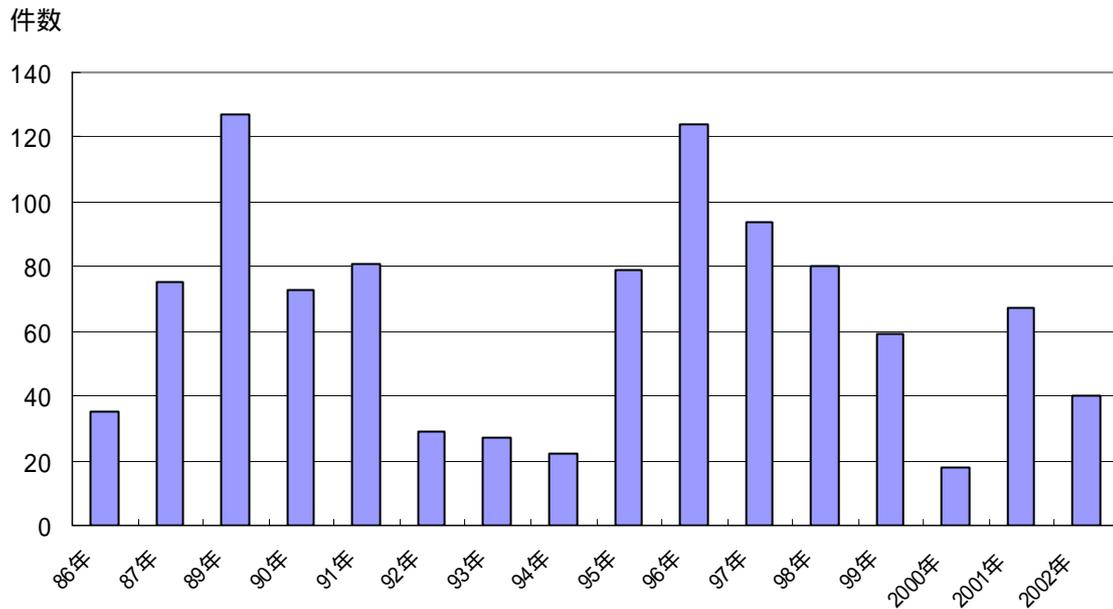
事業別による海外事業の件数について、前回調査との比較をすると次の通りである。

	前 回	今 回	増 加 数	前 回 比 率
生産事業	1,142	1,182	40	103.5%
販売事業	248	229	-19	92.3%
技術供与	630	592	-38	93.9%
その他(注)	105	109	4	103.8%
合 計	2,125	2,112	-13	99.4%

(注) その他とは、「現地統括管理会社」、「研究開発会社」等

生産事業は昨年に比べ40件増加し合計1,182件であった。昨年に比べ、増加率は低下している。

### 海外生産拠点数の増加推移

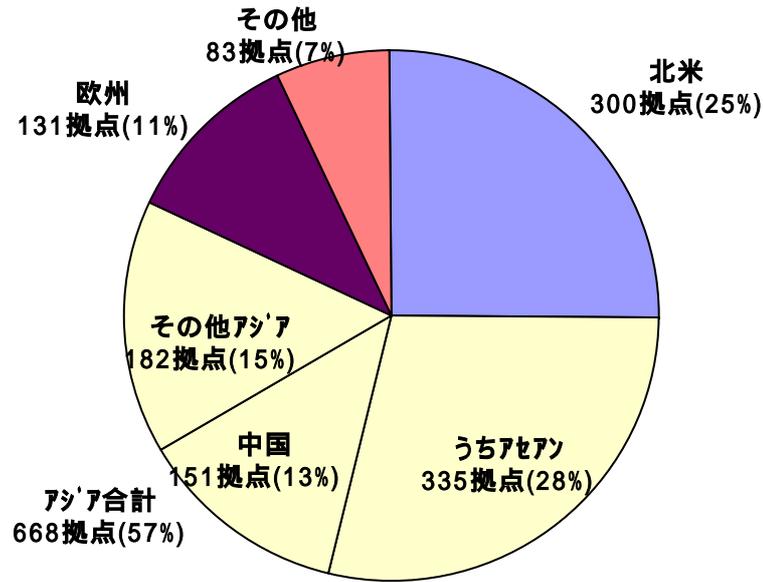


(注) 年は、調査実施年を示す。

今回調査での生産拠点(現地企業)の地域別分布は次の通りである。昨年と比べ、傾向に大きな違いはなく、引き続きアジア地域での割合が60%近くになっている。

なお、この報告書で使用される地域区分のうち、北米は米国およびカナダである。その他の地域は、メキシコを含む中南米、大洋州、トルコを含む中近東およびアフリカである。

1,182生産拠点の地域分布



なお、今回調査では増加した国および地域は次の通りである。

地域別生産会社の増加状況

国/地域名	前回 調査	今回 調査	増加数
全 体	1,142	1,182	40
北 米 (うち米国)	290 (267)	300 (280)	10 (13)
欧 州 (うち旧東欧圏)	123 (19)	131 (31)	8 (12)
ア ジ ア (うちアセアン) (うち中国)	648 (329) (134)	668 (335) (151)	20 (6) (17)
そ の 他 (うち中南米)	81 (63)	83 (61)	2 (-2)

今回調査では新規生産会社の登録は40社と低調であったが、これは次の理由により会員企業の海外事業展開が低調になったことを示すものではない。

- 今回調査では新規登録は107社であった。
- 他方昨年に比べ13社の会員企業が当会より脱会したため、それによって海外生産会社45社が除外された。
- また、今回調査では海外生産会社の売却、解散、統合などの報告が増加し、それが22社に及んでいる。

今回調査で新規登録が多かった主要国は次のとおりである。絶対数は多くないがチェコの急増が注目される。

- 中国23社、
- 米国23社
- タイ15社
- チェコ9社

## 海外生産事業の概要

### 1. 調査方法

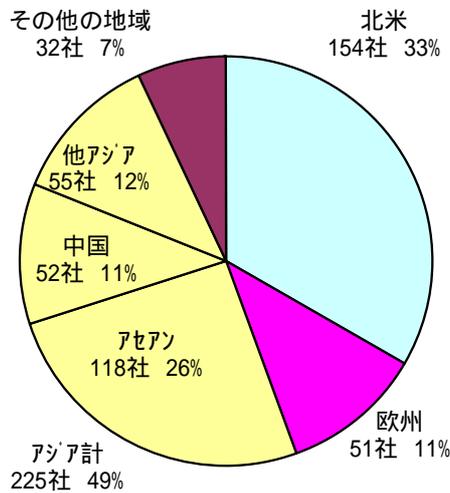
#### 調査対象企業

会員企業にとって重要性の高い海外の連結子会社（持分法適用会社は除く）に調査対象を限定し、連結決算を実施していない会員企業には連結子会社に相当すると思われる現地企業について、2001年（度）の海外生産事業の状況を伺った。

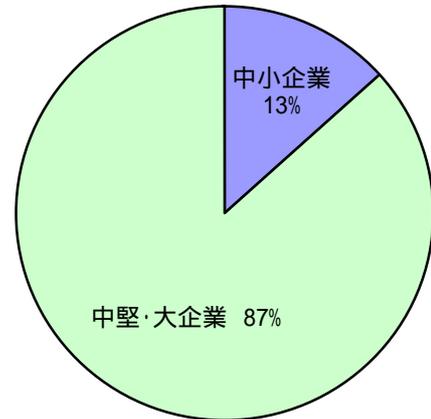
### 2. 回答企業の内訳

回答企業数は現地企業数で462社（日本本社数で120社）であった。回答のあった企業を地域別および規模別に見ると次の通りである。

回答企業（現地）の地域別内訳



回答企業（日本本社）の規模別内訳



回答企業（現地）の設立年別内訳

	回答企業数	比率
～1980年	50社	11%
1981～1990年	145	31%
1991年以降	267	58%

### 3. 売上高の状況

#### (1) 売上高の推移

回答した現地企業462社のうち3社は売上高未回答であった。

	2000年	2001年
回答企業数	488社	459社
売上高合計	34,391億円	37,007億円
1社平均	70.5億円	80.6億円

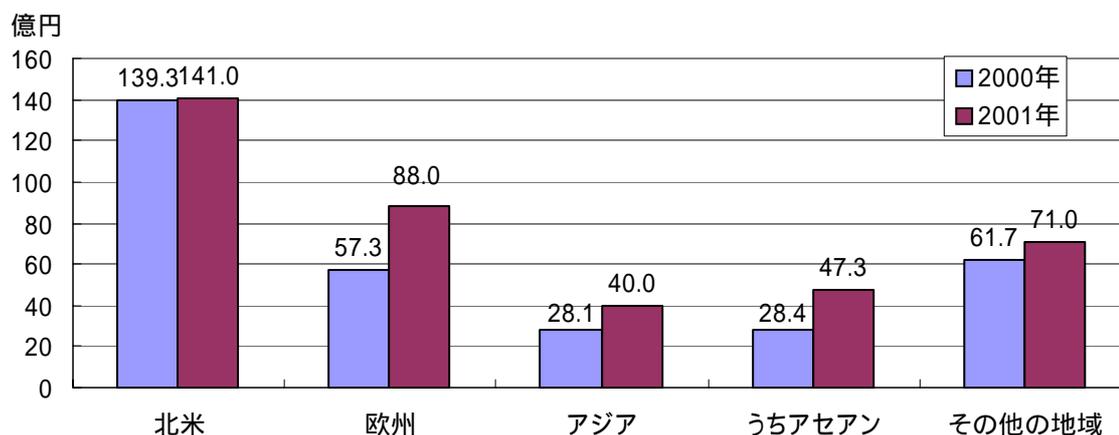
今回の調査では459社の売上高合計は約3.7兆円で、現地企業1社あたりの平均売上高は80.6億円であった。昨年の結果と比較すると、売上高合計で107.6%、1社平均で114.3%となった。なお、調査対象である海外生産会社の連結子会社全てから回答があったわけではないことを考慮すると、この金額はおおよその目安である。

## (2) 地域別売上高比率と生産拠点数比率の比較

前回調査と同様の傾向であった。北米の生産拠点数が全体の33%にもかかわらず売上高の約60%を占め、アジアは生産拠点数で約半数を占めるが、売上高シェアでは24%であった。また、中国は生産拠点では11%、売上高シェアは4%であった。

	回答した 現地企業数	回答企業数の 割合	回答企業の 売上高合計	売上高の割合
北米	151社	33%	21,321億円	58%
欧州	51	11	4,489	12
アジア (うちアセアン) (うち中国)	225 (118) (52)	49 (26) (11)	8,932 (5,585) (1,601)	24 (15) (4)
その他の地域	32	7	2,266	6
合計	459	100	37,008	100

## (3) 地域別1社平均売上高

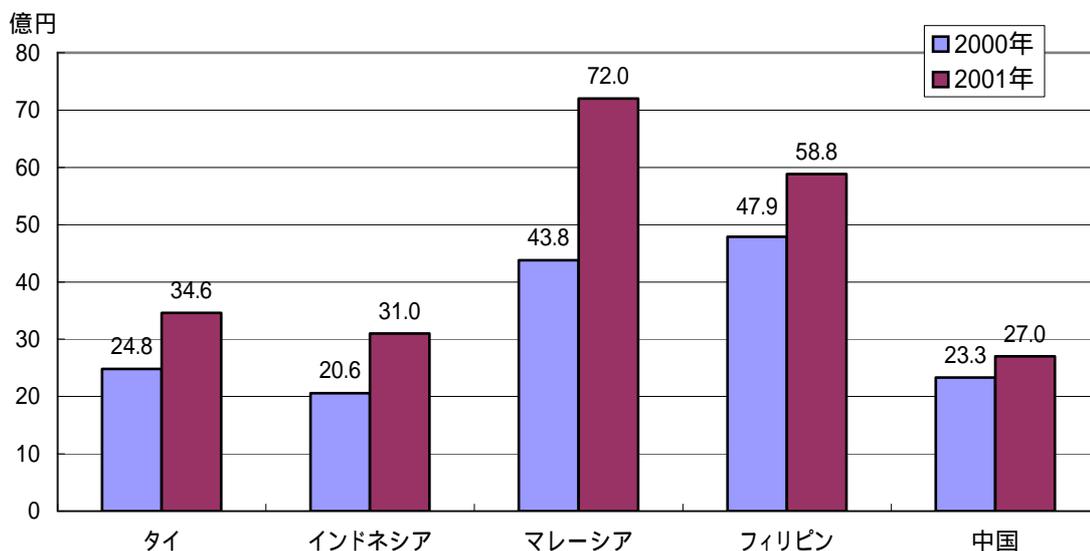


\*これは売上高を回答した現地企業の平均である。現地企業数は、2000年は北米157社、欧州62社、アジア227社、うちアセアン118社、その他42社。2001年は北米151社、欧州51社、アジア225社、うちアセアン118社、その他32社の平均である。

全ての地域で昨年の1社平均売上高を上回った。特に欧州、アジア、アセアンでは2000年に比べて大きく伸びた。アセアンの主要4ヶ国(タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン)および中国の1社当たりの平均売上高を比較すると、次のグラフの通りである。

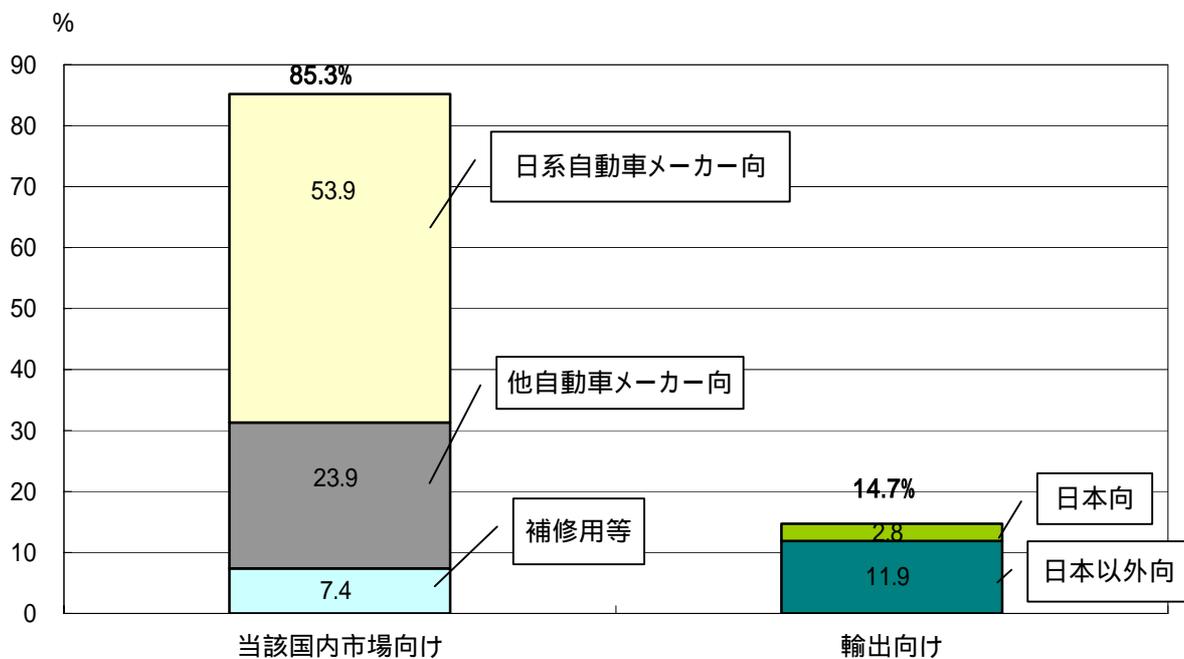
全ての国で前年に比べ高い伸びとなった。

アセアン主要4カ国および中国の1社平均売上高



\* 2000年は現地企業、タイ 58社、インドネシア 33社、マレーシア 11社、フィリピン 15社、の平均、2001年はタイ 64社、インドネシア 28社、マレーシア 5社、フィリピン 14社の平均である。(なお、マレーシアのサンプル数が少ないため必ずしも平均的な実態を示していないと考えられる)

(4) 売り先別の比率



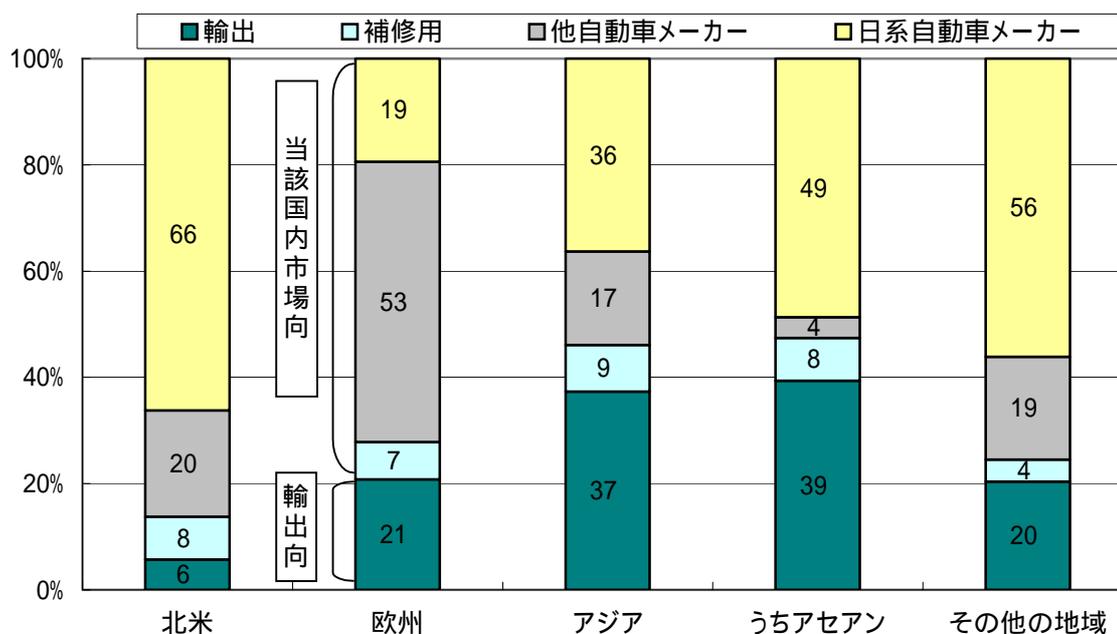
\* この比率は売上高と売り先別比率を正確に回答した現地企業 388社の加重平均である。

2000年との比較すると次の通りである。

		2000年	2001年
当該国内 市場向け	日系自動車メーカー向け	50.8%	53.9%
	他自動車メーカー向け	23.0%	23.9%
	補修用等	8.8%	7.4%
	当該国内市場向け 小計	82.5%	85.3%
輸出向け	日本向け	4.6%	2.8%
	輸出向け	12.8%	11.9%
	輸出向け 小計	17.5%	14.7%
合計		100.0%	100.0%

現地企業388社を地域別に分け、地域別の売り先別比率は次の通りである。

地域別 売り先別比率



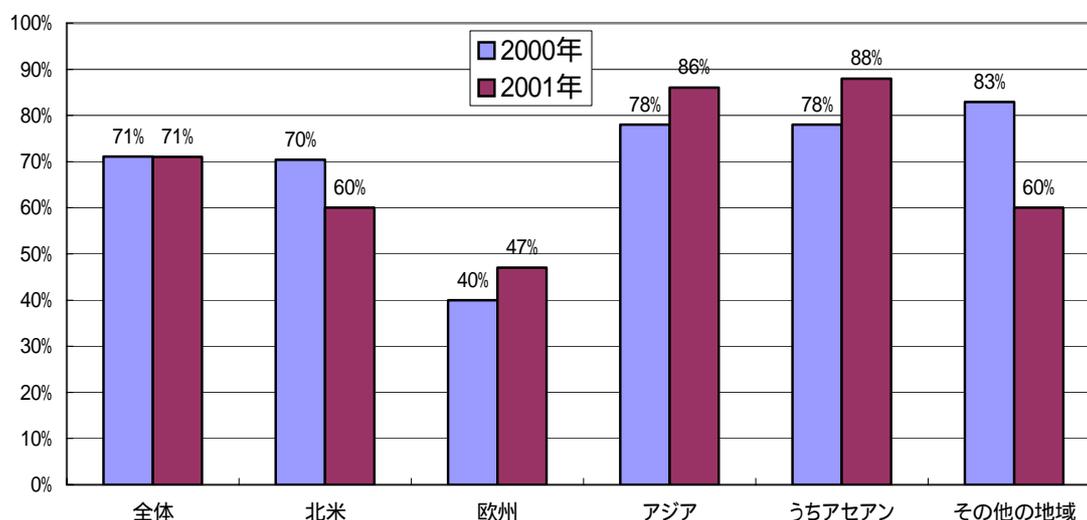
\*上記の比率は、現地企業北米134社、欧州45社、アジア179社、アセアン93社、その他の地域30社の加重平均である。

\*輸出は、日本向けと日本以外向けの合計。

	日系自動車メーカー向		他自動車メーカー向		補修用等向		輸出	
	2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年
北米	61%	66%	22%	20%	9%	8%	9%	6%
欧州	28%	19%	46%	53%	5%	7%	21%	21%
アジア	36%	38%	17%	17%	9%	9%	39%	37%
うちアセアン	38%	49%	7%	4%	8%	8%	47%	39%
その他	42%	56%	22%	19%	8%	4%	28%	20%

## 4. 収益の状況

### (1) 2001年(度) 税引前当期利益黒字企業の構成比率(%)



\* これは現地企業に占める黒字企業の割合である。現地企業数は2000年は全体470社、北米152社、欧州60社、アジア217社、うちアセアン118社、その他の地域41社。2001年は全体455社、北米149社、欧州51社、アジア223社、うちアセアン117社、その他の地域32社。

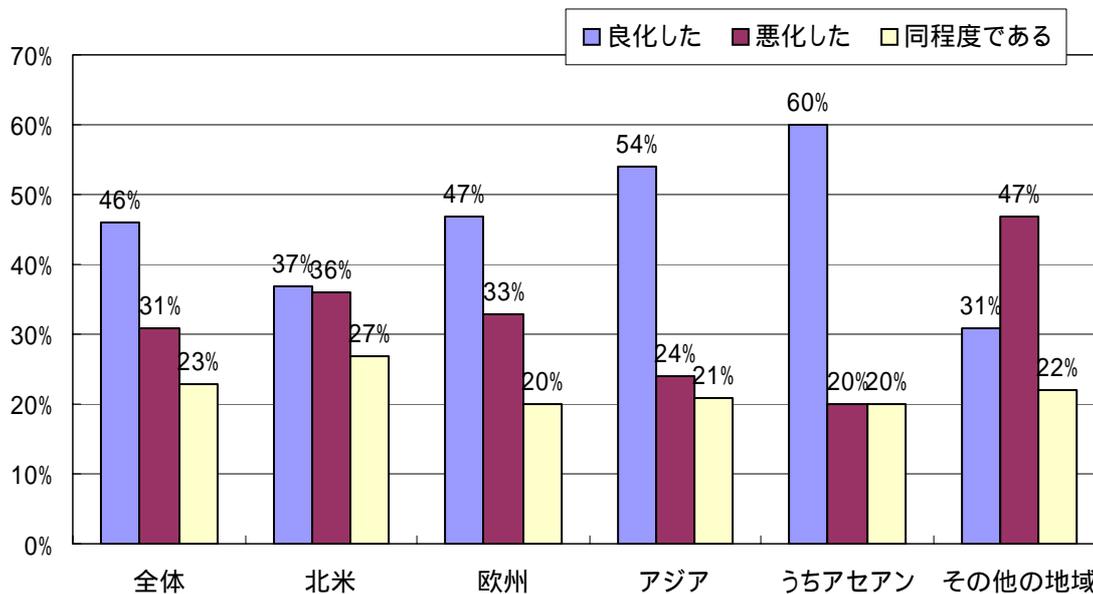
全体では71%が当期黒字と回答しており、昨年と同じ結果となった。地域別にみると、アジアとその他の地域では80%超であった。欧州は47%と低い水準であったが2000年の結果より改善した。北米は昨年より低下し、全体(71%)を下回る結果となった。

アセアン主要4カ国及び中国の税引前当期利益の黒字企業比率は次の通りである。アセアン主要4カ国は80%、中国も70%を超える水準であった。

	現地企業数	うち黒字企業数	黒字企業比率
タイ	63社	53社	84%
インドネシア	28社	25社	89%
マレーシア	5社	5社	100%
フィリピン	14社	14社	100%
中国	52社	38社	73%

地域別に採算状況を前年度と比較した場合、次のグラフの通りとなった。

### 地域別 採算状況の前年度との比較



\* これは現地企業（全体 448 社、北米 148 社、欧州 51 社、アジア 217 社、うちアセアン 117 社、その他 32 社）の各項目の回答割合を示す。

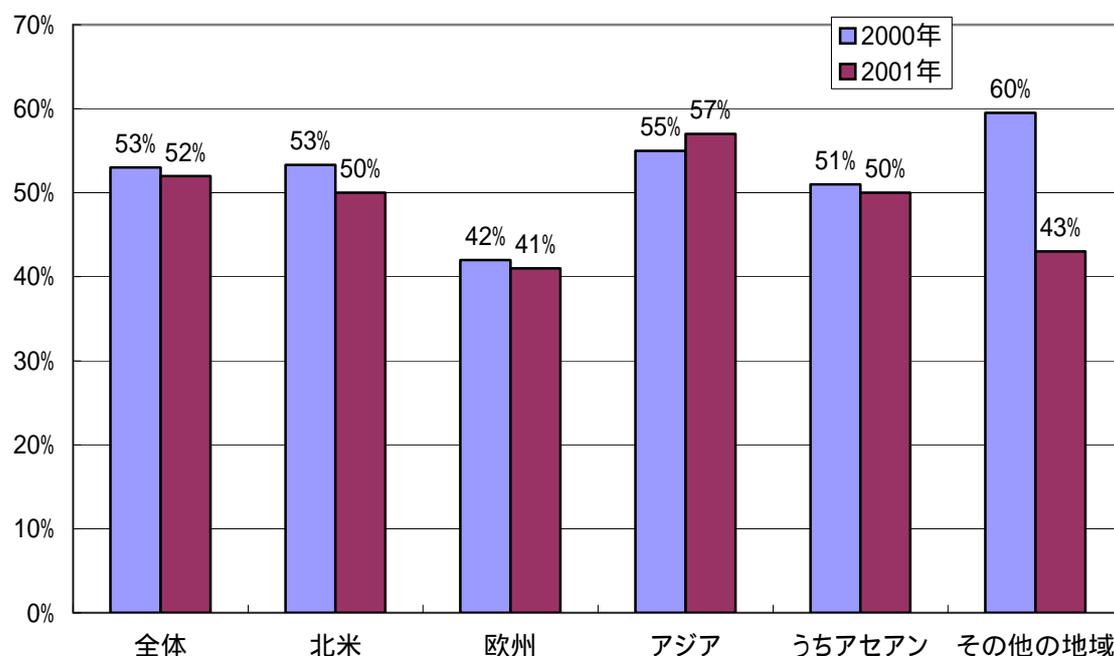
2000年（度）との比較は次のとおりである。

	良化した		悪化した		同程度である	
	2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年
全体	54%	46%	25%	31%	21%	23%
北米	43%	37%	35%	36%	22%	27%
欧州	49%	47%	22%	33%	29%	20%
アジア	64%	54%	20%	24%	16%	21%
うちアセアン	68%	60%	16%	20%	16%	20%
その他	43%	31%	24%	47%	33%	22%

各地域とも「良化した」と回答した企業の割合が、昨年度に比べ減少している。

## (2) 累積黒字企業の構成比率(%)

ここでも欧州企業の収益状況は悪いが、それは主に英国在企業の影響が大きいと考えられる。英国在企業の黒字企業の割合は28%であった。



\* これは現地企業数に占める累積黒字企業の比率である。現地企業数は 2000年は全体472社、北米152社、欧州60社、アジア218社、アセアン118社、その他の地域42社。2001年は全体427社、北米145社、欧州51社、アジア201社、アセアン107社、その他の地域30社。

アセアン主要4カ国および中国での累積黒字企業の比率は次の通りであった。

	現地企業数		うち黒字企業数		黒字企業比率	
	2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年
タイ	56	57	22	24	39%	42%
インドネシア	32	26	16	13	50%	50%
マレーシア	9	5	9	4	100%	80%
フィリピン	14	12	9	7	64%	58%
中国	43	47	21	26	49%	55%

### (3) 設立年代別累積黒字の達成率

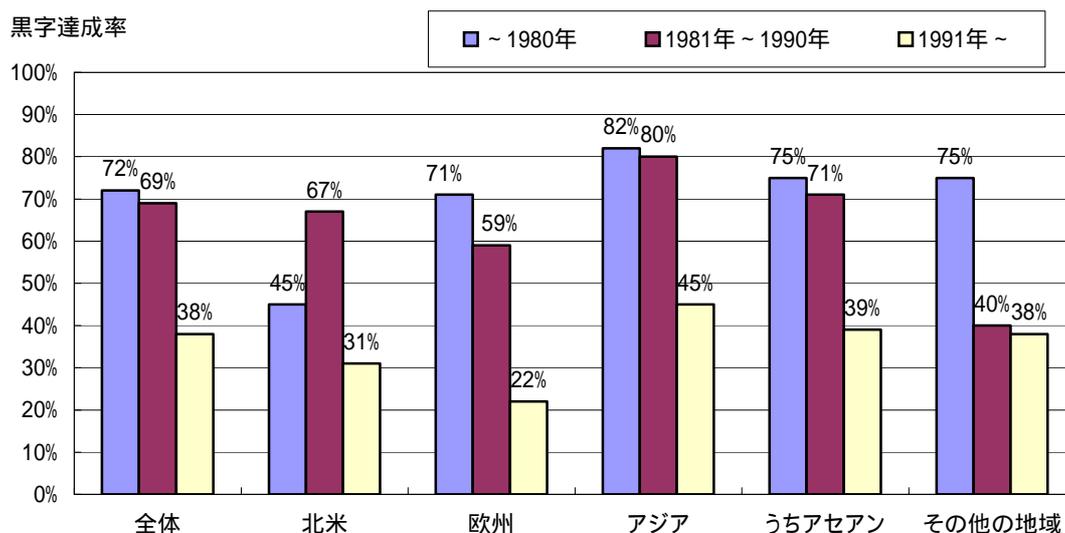
設立年代別に、毎年の調査ごとに累積黒字企業の比率を比較した。昨年と同様に今回も1970年代、1980年代に進出した企業の累積黒字化が70%前後の高い水準になり、累積黒字化が進んできていると言える。

2000年との比較は次の通り。

	現地企業数		うち黒字企業数		達成率	
	2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年
～1980年	54	50	40	36	74%	72%
1981年～1990年	167	135	116	93	70%	69%
1991年～	251	242	94	93	38%	38%
合計	472	427	250	222	53%	52%

地域別・設立年別に累積黒字達成企業比率を比較すると次の通り。北米で、1980年までに設立された会社の黒字達成率が低いことが注目される。(回答企業11社中5社が黒字)

地域別 累積黒字達成企業の構成比率



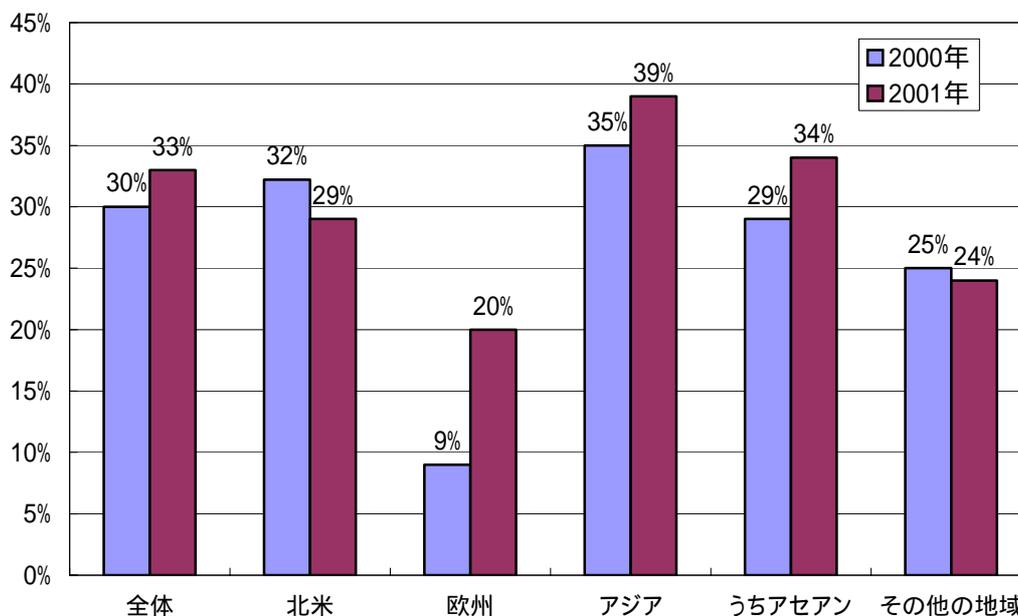
### (4) 本社への配当

2001年(度)決算で配当した企業は、有効回答数424社(現地企業数)のうち139社で32.8%、配当していない企業は277社で65.3%であった。昨年の調査はとの比較は次表の通りである。

	2000年(度)決算	2001年(度)決算
現地企業数	444社	416社
配当した企業数	134社(30.2%)	139社(33.4%)
配当していない企業数	310社(69.8%)	277社(66.6%)

今回調査で配当した企業を地域別にみると次の通りであった。昨年に比べ欧州で配当した企業の比率が上昇した。全体では昨年と同じ傾向となった。

地域別 配当企業構成比率



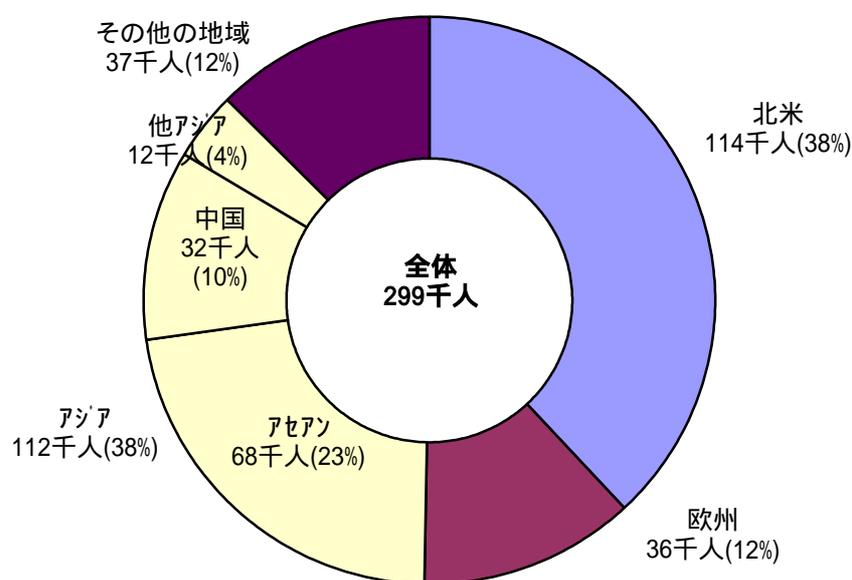
\* これは現地企業数に占める配当企業数の比率である。2000年は全体 444 社、北米 164 社、欧州 56 社、アジア 206 社、うちアセアン 111 社、その他の地域 36 社。2001年は全体 424 社、北米 138 社、欧州 49 社、アジア 208 社、うちアセアン 110 社、その他の地域 29 社。

## 5. 雇用の状況

全世界および地域別の雇用状況は次の通りである。1社平均では地域で増加している。

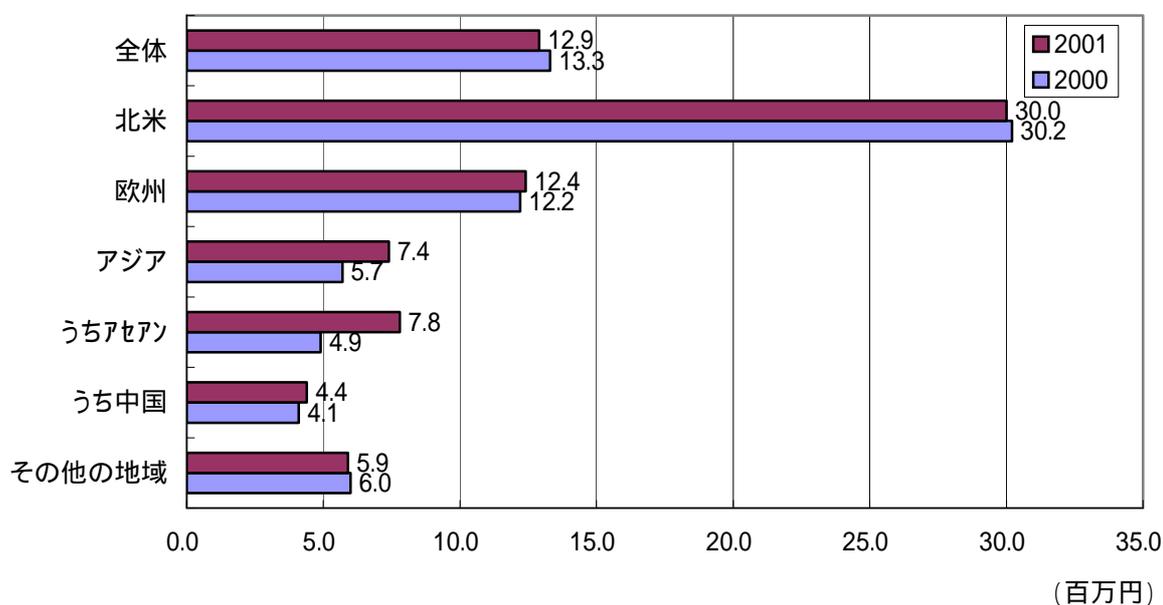
	現地企業数		全従業員数		1社平均雇用者数	
	2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年
全体	488社	436社	296千人	299千人	607人	687人
北米	158	150	109	114	688	759
欧州	62	51	32	36	513	708
アジア	226	205	112	112	496	548
うちアセアン	124	109	72	68	582	621
うち中国	44	47	25	32	575	689
その他の地域	42	30	43	37	1,035	1,235

### 地域別 雇用者数



地域別の1人当たりの売上高は次のとおりとなった。

### 地域別 1人当たり売上高

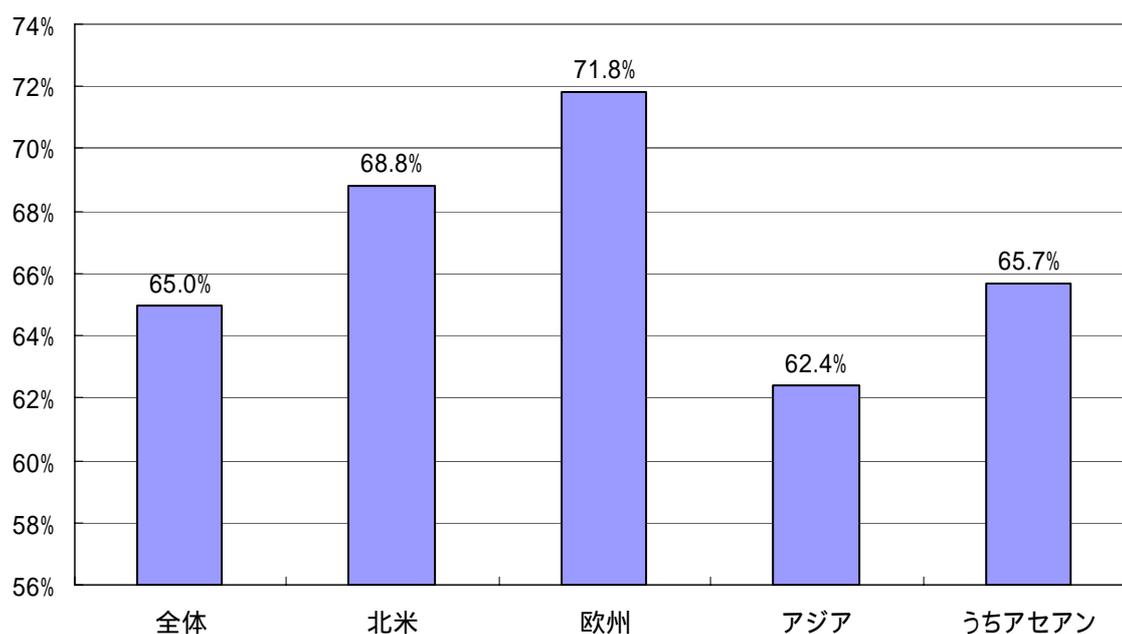


\* これは売上高と従業員数双方を回答した企業の平均である。現地企業数は、2000年は全体 473社、北米 150社、欧州 58社、アジア 223社、うちアセアン 122社、中国 44社、その他の地域 42社。2001年は全体 434社、北米 147社、欧州 51社、アジア 205社、うちアセアン 109社、中国 47社、その他の地域 30社。

## 6 . 現地調達率

現地調達率の引き上げは、海外生産の重要な要素の一つであり、各社は現調率引き上げに努力しているところである。欧州では70%超の高水準となった。アセアンも北米に近い水準となった。

各地域とも日本からの技術移転の一層の促進など現調率の引き上げが引き続き重要であると考えられる。



\* 現地調達率 = (売上高 - 輸入購入額) / 売上高

\* EU、NAFTA、ASEAN の域内購入は輸入とはみなさない。

\* 上記は全体 375 社、北米 125 社、欧州 47 社、アジア 174 社、アセアン 90 社の平均である